

### 第3章 地域別の発展方向

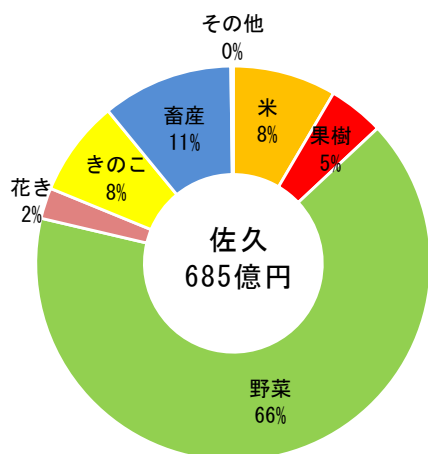
#### 佐久地域の発展方向

小諸市・佐久市・小海町・佐久穂町・川上村・南牧村・南相木村・北相木村・軽井沢町・御代田町・立科町

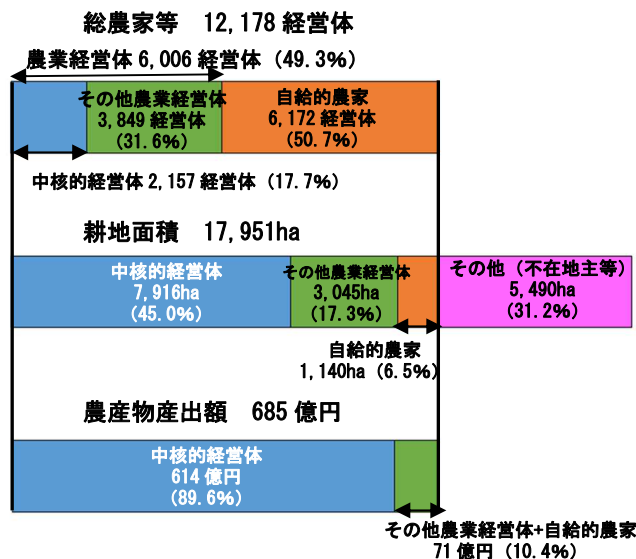
#### 多様な人材で支え合う持続可能な佐久の農業・農村

##### 農業・農村の特徴

千曲川源流の清らかな水と標高 500m～1500m に広がる雄大な自然に恵まれた立地条件を活かして、八ヶ岳・浅間山麓地帯では、高原野菜、酪農・肉牛等の畜産、佐久平では良質米、プルーン等の果樹、花き、信州サーモン等水産、川西地区では、品質に定評のあるりんごや肉牛、養豚等多様な農業が営まれています。



【2020年】(2020農林業センサスから推計)



##### めざす姿

#### I 皆が憧れ、稼げる佐久の農業

- 地域の話し合いにより地域農業の将来像が明確化され、新規参加者や親元就農者が担い手として活躍しています。
- 法人化された大規模経営体に農地が集約され、スマート農業技術の導入により高品質多収産地として、競争力の高い水田農業が展開されています。
- 葉野菜地帯では輪作体系が導入され、適正規模による効率的経営が行われるとともに、計画生産の実施や持続的生産体系の普及により、夏秋期のナンバー1産地が維持されています。
- 化学合成農薬や化学肥料を削減した栽培や有機農業など、持続可能な農業に取り組む農業者が増えて、取組面積が増加しています。

#### II しあわせで豊かな暮らしを実現する佐久の農村

- 地域ぐるみの共同取組活動により、中山間地域の農地が維持され、多面的機能の維持や農村

の景観が保全されています。

- 農業用水利施設の防災対策が実施され、農村の安全安心な暮らしが実現しています。

### Ⅲ 魅力あふれる佐久の食

- 佐久地域で生産された農産物が地元消費者の利用に加え、学校、宿泊施設等へ供給され、農産物直売所が安定的に運営されています。
- 食育に関する理解が進み、若い世代にも関心が広まり、全国有数の長寿地域である佐久の食文化が次世代に継承されています。

## 施策の展開方向

### I 皆が憧れ、稼げる佐久の農業

#### 重点取組1 皆が憧れる経営体の育成と人材の確保

新規就農里親研修制度等を活用しての新規参入や親元就農など、毎年一定数の担い手は確保されていますが、さらなる確保に努めていきます。就農後の技術指導、早期経営安定のための経営状況の把握など、関係機関と連携した支援を進めます。

##### 【達成指標】

| 項目            | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|---------------|----------------|----------------|
| 新規就農者数(49歳以下) | 28人/年          | 33人/年          |
| 中核的経営体数       | 2,097経営体       | 2,150経営体       |

##### 【具体的な施策展開】

- 担い手を明確にする地域計画の策定と実現に向けた支援
- 意欲ある担い手の生産技術、経営能力向上支援
- 市町村、関係団体と連携した新規就農者の確保・育成及び就農後のサポート



【佐久農業青年のつどい】

#### 重点取組2 夏秋期葉洋菜等のナンバー1産地としての持続的発展

佐久地域は、全国屈指の夏秋期の葉洋菜産地として発展してきました。今後は、一層の計画生産や環境負荷の少ない持続的生産体系への転換が求められています。

##### 【達成指標】

| 項目                  | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|---------------------|----------------|----------------|
| 堆肥入り化学肥料の施用面積       | 195ha          | 300ha          |
| 鮮度保持機能の向上を行う施設数(累計) | -              | 3施設            |

### 【具体的な施策展開】

- 需要に応じた葉野菜の計画生産と、環境に配慮した資材・技術導入によるグリーン栽培の推進
- 適正規模による効率的な経営モデルの推進
- 稼ぐ野菜産地を支える鮮度保持施設等の機能向上支援



【堆肥入り化学肥料現地試験】

## 重点取組 3 佐久の立地と気象を活かした個性が光る産地づくり

佐久地域は、良質米や品質の高い畜産物、果樹、花きの産地として発展してきました。今後新たな技術の導入等を進め、省力化と安定生産に取り組む、産地の維持発展を進めます。

また、米は需要に応じた生産のため新規需要米等の作付けを推進します。

### 【達成指標】

| 項目           | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|--------------|----------------|----------------|
| 新規需要米等の作付け面積 | 228ha          | 260ha          |
| プルーンの栽培面積の維持 | 71ha           | 71ha           |

### 【具体的な施策展開】

- 水田農業の高単収と高品質の維持に向けた安定生産及びスマート農業技術の導入推進と雑草イネの発生面積抑制
- 生乳生産性向上や効率的な飼料給与技術の導入による酪農等生産基盤の強化
- プルーンの生産量維持と佐久の強みを活かした品種構成による産地展開
- 施設花きの連作障害対策と燃油削減技術の導入による低コスト安定生産



【ラジコン式草刈機実演会】

## 重点取組 4 持続可能な農業の取組面積の拡大

夏でも冷涼な佐久地域では、化学合成農薬・化学肥料を削減した農業への取組が進みつつありますが、地球温暖化防止や脱炭素化のため、有機農業など環境負荷を軽減した持続可能な農業への一層の取組が必要となっています。

### 【達成指標】

| 項目             | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|----------------|----------------|----------------|
| 持続可能な農業に取り組む面積 | 474ha          | 725ha          |

### 【具体的な施策展開】

- 土壌診断に基づく施肥設計や化学肥料を削減した栽培の推進
- 有機農業生産者グループの育成と安定生産の推進
- 農畜産物の安全性確保のためのGAP導入の推進



【GAP研修会】

## Ⅱ しあわせで豊かな暮らしを実現する佐久の農村

### 重点取組 5 農業農村の多面的機能の維持と災害から暮らしを守る防災対策の実施

農業・農村の有している自然環境の保全、良好な景観の形成など多面的な機能を維持していくため、農地や農業用水路等の適切な管理が求められています。

また、頻発化・激甚化する自然災害による農業用水利施設への被害防止のため、農業用ため池の防災対策を計画的に進めていく必要があります。

#### 【達成指標】

| 項目                             | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|--------------------------------|----------------|----------------|
| 地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動面積 | 4,444ha        | 4,602ha        |
| 防災重点ため池の地震耐性評価の実施箇所数           | 24か所           | 84か所           |

### 【具体的な施策展開】

- 多面的機能支払事業等を活用した農地や農業用水路の適切な管理の支援
- 防災重点農業用ため池に係る防災対策の集中的かつ計画的な推進
- 地域ぐるみで取り組む野生鳥獣被害対策への支援



【地域ぐるみの共同取組活動】

## Ⅲ 魅力あふれる佐久の食

### 重点取組 6 地域食材の魅力を伝える地消地産と食育の推進

県外への出荷が中心となっている佐久地域の農産物は、地元食材の魅力発信や、学校や宿泊施設等への供給体制づくり等により、地消地産の一層の推進が必要となっています。

また、佐久地域の食文化を継承していくため、関係機関と連携して食育を推進します。

### 【達成指標】

| 項目                         | 2021 年度<br>(現状) | 2027 年度<br>(目標) |
|----------------------------|-----------------|-----------------|
| 売上額 1 億円を超える農産物直売所の売上高     | 23.3 億円         | 25 億円           |
| 新たに地元食材を供給する宿泊施設、飲食店数 (累計) | -               | 20 施設           |

### 【具体的な施策展開】

- 農産物直売所の店舗運営、品揃え充実、直売所間連携等のための研修会等の開催
- 特徴ある農畜産物・水産物の飲食店等への供給による地消地産の推進
- 関係機関と連携した食育・花育活動の推進



【保育園における食育活動】

## 上田地域の発展方向

上田市、東御市、長和町、青木村

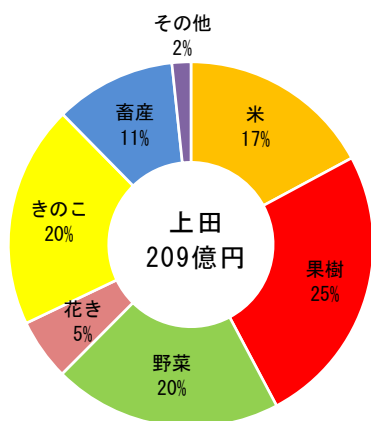
### 人・食・地域 つながり輝く上小農業

#### 農業・農村の特徴

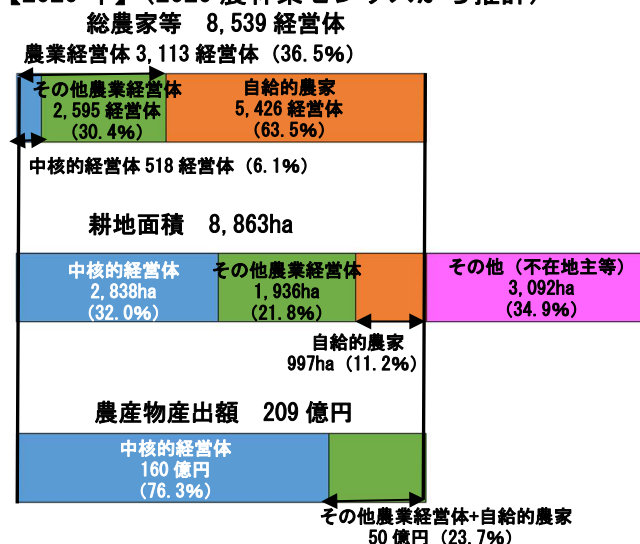
標高差や少雨多照の気象条件を活かし、水稻や畜産、果樹や野菜、花きなど多様な品目が生産され、近年はワイン用ぶどう栽培とともにドメーヌ型ワイナリー※の建設が増加しています。

水田農業は農地集積による大規模化・法人化が進む一方で、自給的農家の割合や高齢化率は県平均より高く、中核的経営体だけでなく小規模農家により農業生産や農村機能が維持されています。

最近では、他産業者、移住者等と連携した棚田景観の活用による農村活性化の活動も生まれています。



#### 【2020年】(2020農林業センサスから推計)



※ドメーヌ型ワイナリー：自分でぶどうの栽培から醸造、熟成、瓶詰までを行う生産方式

#### めざす姿

##### I 皆が憧れ、稼げる上田の農業

- 中核的経営体だけでなく小規模農家でも環境に配慮した農法や消費者ニーズ・消費ターゲットを意識した“こだわりのある生産・販売”により稼げる農業が生まれ、県内外が憧れる農業が実践されています。
- “キラリと光る農畜産物や農産加工品”は、新規就農者の憧れとなり、農業者等のつながりによる地域計画(人・農地プラン)の実行で、農地や施設等の農業資産が有効活用され生産された多様な品目が安定供給されています。

##### II しあわせで豊かな暮らしを実現する上田の農村

- “ほどよい田舎”や“暮らしやすさ”など地域の魅力発信により、惹きつけられた移住者が、農



業・農村の新たな力として活動しています。

- 農業の営みを通して守られてきた棚田やため池、農業用水路は、長寿命化やデジタル技術の導入とともに、“美しい景観や豊かな自然環境の一部”である理解が醸成され、多様な人々が参加し、つながる保全活動により維持、活用されています。

### Ⅲ 魅力あふれる上田の食

- 地元農産物や有機農産物等に関する消費者の理解醸成とともに、観光客等との交流、地域情報の発信など生産と消費をつなぐ拠点として農産物直売所が“新たな機能を発揮”しています。
- 農業者と地域住民、教育関係者等のつながりによる“食育”や“農育”活動、“学校給食の活用”等により、農業の魅力、伝統食や食文化についての学びが広がり、地元農畜産物の消費が拡大しています。

## 施策の展開方向

### I 皆が憧れ、稼げる上田の農業

#### 重点取組1 人と地域のつながりによる担い手の確保と農地利用

多様な担い手を積極的に呼び込み、更なる新規就農者の確保とともに、地域計画に基づく農地利用を推進し農地の集積を進めます。特に、中核的経営体への農地集積と経営の効率化を推進するほかに、小規模農家や兼業農家等も地域の重要な担い手として位置付け、地域農業の維持・発展を図ります。

#### 【達成指標】

| 項目            | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|---------------|----------------|----------------|
| 新規就農者数(49歳以下) | 7人/年           | 11人/年          |
| 中核的経営体数       | 529経営体         | 620経営体         |

#### 【具体的な施策展開】

- 地域サポート計画の充実による新規就農者の確保・育成
- 地域計画(人・農地プラン)に基づく地域に合った農地利用の推進
- 経営計画の実現による地域農業を担う中核的経営体の確保



【新規就農者セミナー】

#### 重点取組2 持続性の高い生産方式への転換と稼げる農畜産物生産

地球温暖化や気象災害に強い産地づくりを目的に、多目的ネット等の導入や適応品種・技術の普及を図ります。また、生産性や所得の向上につながる新技術や新品種の普及定着を図りながら、環境負荷軽減に寄与する農法の拡大を進めます。

基幹産業として期待されるワイン振興に関しては、原料ぶどうの質と量の向上に取り組めます。

## 【達成指標】

| 項目               | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|------------------|----------------|----------------|
| 多目的ネット等の利用面積     | 59ha           | 100ha          |
| 醸造用ぶどうの収穫量       | 281t           | 1,200t         |
| 持続性の高い生産方式導入面積 ※ | 428ha          | 500ha          |

※環境にやさしい農産物認証、環境保全型農業直払交付金対象面積

## 【具体的な施策展開】

- 気候変動や気象災害に強い産地づくり
- 自然を活かした環境保全型農業の拡大
- 生産性や所得の向上につながる新技術・新品種等の普及定着
- ワイン文化の定着に応える醸造用ぶどうの質・量の向上
- 温室効果ガス排出量の少ない生産方式の導入支援
- 特定家畜伝染病防疫対策の強化
- 野生鳥獣被害防止対策の強化



【農業用ドローンによる防除】

## 重点取組3 実需者に“つながり・応え・つくる”生産と流通の拡大

需要に応じた米の適正生産や県オリジナル品種の普及拡大を図るとともに、消費者ニーズや消費ターゲットを捉えた新品目の選定や流通の検討を進めます。また、他産業とつながった農商工連携や6次産業化の取組み、海外輸出の取組への支援により販売力の高い産地づくりを進めます。

## 【達成指標】

| 項目              | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|-----------------|----------------|----------------|
| 県オリジナル品種等*の普及面積 | 293ha          | 624ha          |
| 米・ぶどうの輸出量       | 245t           | 300t           |

※ 対象品目：水稲：「風さやか」、小麦：「しろゆたか」、そば：「ひすいそば」、「タチアカネ」  
りんご：「シナノリップ」、ぶどう：「ナガノパープル」、「クイーンルージュ®」、「シャインマスカット」

## 【具体的な施策展開】

- 消費ターゲットを明確化した生産対応と販路拡大
- 世界基準を見据えた生産振興による農畜産物輸出の拡大
- ワイン等酒類の需要拡大につなげる販売力・発信力の強化
- 農商工・産官学連携による販売力の強化と地域産業の活性化



【クイーンルージュ®】



## Ⅱ しあわせで豊かな暮らしを実現する上田の農村

### 重点取組 4 地域資源を活かした“人と地域”のつながりの活性化

棚田やため池、歴史ある農業用水などの農業資産や、水稻や果樹など多様な農業体験等の魅力を積極的に発信し、都市住民との交流活動の活性化を推進します。また、地域住民と都市住民がともに行う農業資産の維持保全活動を支援するとともに、農ある暮らしの充実など農村の魅力を磨き上げ、移住促進と農村活性化につなげます。

#### 【達成指標】

| 項目       | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|----------|----------------|----------------|
| 都市農村交流人口 | 6,576人         | 検討中            |

#### 【具体的な施策展開】

- 地域資源の維持保全活動を通じた地域活動の活性化支援と魅力発信
- “農ある暮らし・農業体験”の充実による都市農村交流の活性化
- 小規模農家や兼業農家（半農半X）による農村維持への貢献と役割強化



【棚田の田植え体験】

### 重点取組 5 農村の暮らしを守る農業基盤の強靱化

災害から暮らしを守るため、農村地域の安全安心を高める整備を進めます。特に、決壊した場合に人的被害を与える恐れのある、防災重点農業用ため池の耐震対策を進めるとともに、集中豪雨による氾濫防止のため、ゲートの自動化・遠隔化など農業水利施設の管理の省力化や安全確保を図る施設整備を進めます。

#### 【達成指標】

| 項目                      | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|-------------------------|----------------|----------------|
| 防災重点農業用ため池の防災対策工事の着手箇所数 | 21か所           | 29か所           |

#### 【具体的な施策展開】

- ハード・ソフト一体となった“ため池”防災減災対策の推進
- 排水対策の強化に向けた農業水利施設の自動化・遠隔化の推進



【工事済みのため池】

### Ⅲ 魅力あふれる上田の食

#### 重点取組 6 食文化の伝承と地産地消の推進

地域で生産される農産物や伝統食を次世代につなぐため、学校給食や食育、農育等の活動を強化・促進します。また、地産地消のコア施設となる農産物直売所について、農業者の所得確保や食文化の向上、雇用創出の場とともに観光業等の他産業との連携も進め、生産と消費をつなげる機能の強化を支援します。

#### 【達成指標】

| 項目                       | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|--------------------------|----------------|----------------|
| 学校給食の県産食材利用割合<br>(品目ベース) | 46%            | 48%            |
| 常設農産物直売所の売上額             | 20億円           | 25億円           |

#### 【具体的な施策展開】

- 地元農産物や食文化を活用した食育・農育の推進
- 農産物直売所の機能拡大による地産地消の推進



【食育授業の様子】

## 諏訪地域の発展方向

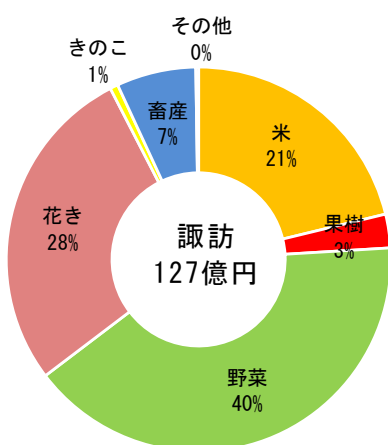
岡谷市・諏訪市・茅野市・下諏訪町  
富士見町・原村

多様な担い手でつむぎ・守る 自然と共生する諏訪の農業・農村

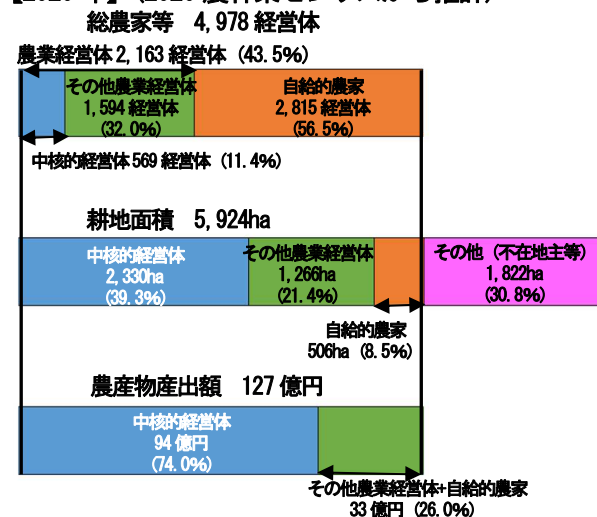
### 農業・農村の特徴

諏訪地域の農業は、標高760mから1200mに至る高標高地に展開し、豊かな自然と共生しつつ、冷涼な気象と都市圏に近い立地を活かして、多様で高品質な農畜産物が生産されています。

その農業類型は、大きく二つに区分され、都市化の進んだ諏訪湖周辺では水稻や施設園芸が、八ヶ岳西麓の高原地帯では野菜、花きと酪農がそれぞれ基幹となっています。また、近年は温暖化の進行による高温障害が一部で問題となる一方、りんごやぶどう等の果樹生産の拡大が期待されています。



### 【2020年】(2020農林業センサスから推計)



### めざす姿

#### I 皆が憧れ、稼げる諏訪の農業

- 地域をけん引する中核的経営体に加え、新規就農や企業参入、定年帰農等による多様な担い手が確保され、生産性や利用効率が向上した農地で収益性の高い農業を展開しています。
- 八ヶ岳西麓地域等、高標高や都市圏に近い立地条件を最大限に活かし、マーケットニーズに応える農畜産物の生産が維持されるとともに、温暖化に対応した果樹等の生産が拡大しています。
- 化学肥料や化学合成農薬の使用量削減等によるグリーン栽培が一層に促進され、諏訪湖創生ビジョンや脱炭素社会の実現に寄与する農業が拡大しています。

#### II しあわせで豊かな暮らしを実現する諏訪の農村

- 諏訪湖や八ヶ岳山麓、霧ヶ峰高原等、豊かな自然景観に溶け込んだ農地・農業用施設の整備や鳥獣被害対策により、生産性の向上と農村の防災機能を果たしています。
- 農業法人による雇用や農福連携の拡大により、農村に新たな雇用と多様な人材が活躍する場が創出されています。
- Uターンや移住、二地域居住等、農村の多様な住民が農業者と協働して、景観保全や多面的機能の維持を担っています。

### Ⅲ 魅力あふれる諏訪の食

- 地元農産物の学校給食への活用、環境にやさしい農産物や伝統野菜の消費拡大等、農業者と関係機関が連携した食育やエンカル消費の取組が加速しています。
- 小規模生産者の販売拠点や地産地消の推進、諏訪農畜産物のPR拠点として、農産物直売所の販売力・機能が一層に高まっています。

## 施策の展開方向

### I 皆が憧れ、稼げる諏訪の農業

#### 重点取組 1 諏訪農業をつむぎ・守る多様な担い手の確保・育成

諏訪地域は、冷涼で都市圏に近い立地を活かした高品質な農畜産物の生産地として発展してきましたが、他地域と同様に農業者の高齢化や基幹的農業従事者の減少が加速しています。

次代の諏訪農業をつむぎ・守るためには、地域をけん引する経営体の維持・発展に加え、新規就農や企業法人の誘致、雇用就農、定年帰農、半農半X等、多様な担い手を安定的に確保することが必要です。

#### 【達成指標】

| 項目             | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|----------------|----------------|----------------|
| 中核的経営体数        | 530 経営体        | 540 経営体        |
| 新規就農者数 (49歳以下) | 8人/年           | 9人/年           |

#### 【具体的な施策展開】

- 就農前研修の充実と関係機関が連携した円滑な就農支援
- 地域計画（人・農地プラン）による多様な担い手の明確化と育成
- 企業法人の誘致による新たな農業モデル・雇用の創出
- 農業法人への就職や短期雇用、農福連携等、多様な雇用形態の確保
- 農業・農村における女性の活躍を支援



【基盤整備後の企業誘致】

#### 重点取組 2 高標高を活かした「稼げる」諏訪農畜産物の生産力強化

八ヶ岳西麓に広がる園芸や酪農等、高標高地で生産される農畜産物は「諏訪ブランド」として実需者や消費者の高い評価と信頼を得ています。一方で、生産者の高齢化による生産減に加え、高温障害や難防除病害虫のまん延、集中豪雨による滞水被害、農業資材・飼料価格の高騰等が問題となっています。将来に向けて諏訪ブランドを維持・発展するためには、新たな課題解決に向けた技術確立や経営支援、生産基盤の整備等による経営体の収益性の向上と生産力強化が必要です。

#### 【達成指標】

| 項目            | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|---------------|----------------|----------------|
| セルリーの出荷数量     | 8,005 t        | 8,500 t        |
| ブロッコリーの出荷数量   | 1,593 t        | 1,800 t        |
| アルストロメリアの出荷本数 | 1,183 千本       | 1,253 千本       |

### 【具体的な施策展開】

- セルリー疫病、テンサイシストセンチュウの防除技術や、転作田の排水対策の確立によるセルリー、ブロッコリー等野菜の生産安定
- キャベツ、ダイコン、レタス等主要品目の生産維持・拡大
- トルコギキョウの土壤病害対策やキク類、カーネーション、花木類等の生産拡大、品目複合等による花きの収益性向上
- 家畜伝染病の予防対策の徹底や飼養管理技術の高度化、自給飼料の増産等による畜産の経営安定
- スマート農業機器や有望品種の導入による水稻の大規模化と収益性向上
- 高温化に対応したりんごやワイン用ぶどう等果樹生産の拡大や新たな園芸品目の導入



【全国一のセルリーほ場】

### 重点取組3 地域農業の将来像・担い手を明確とした農地利用と基盤整備

八ヶ岳西麓の高原地帯や諏訪湖周辺の市街地、中山間部等、農地の利用実態は異なりますが、地域全体として耕作放棄地が増加しています。担い手の多様化や経営体の規模拡大が進む中、地域毎に農業の将来像と担い手を明確として、農地利用の集積化や生産基盤の整備、立地や経営類型等に即したゾーニング等、担い手と地域が一体となって農地の利用効率を高めることが重要です。

#### 【達成指標】

| 項目                           | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|------------------------------|----------------|----------------|
| 基幹的な農業用水利施設の整備延長             | 41.1km         | 42.9km         |
| 担い手への農地集積・集約化を実現する<br>基盤整備面積 | 37ha           | 73ha           |

### 【具体的な施策展開】

- 人・農地プランの法定化による「地域計画」の策定支援
- 基幹的農業用水利施設の計画的な整備、更新と保全管理
- 農地の利用計画や特性に応じた基盤整備
- 中核的経営体への農地の利用集積を推進
- 市街地等、小規模農地に適した品目導入や有効活用を支援



【基盤整備を進める農用地】

## II しあわせで豊かな暮らしを実現する諏訪の農村

### 重点取組4 諏訪湖や八ヶ岳山麓等の豊かな自然と共生する農業の推進

諏訪地域の農業においても、温暖化や気候変動の影響が顕著となっています。また、諏訪湖は、一定の水質改善効果が見られるも、漁獲量の減少やヒシの大量繁茂等が問題となっています。

「みどりの食料システム法」を踏まえ、化学肥料や化学合成農薬の使用量削減等、グリーン栽培や



有機農業の促進により、諏訪湖創生や脱炭素社会の実現に寄与していく必要があります。

### 【達成指標】

| 項目                  | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|---------------------|----------------|----------------|
| 信州の環境にやさしい農産物認証取組件数 | 18件            | 25件            |
| 緑肥の利用面積             | 123ha          | 204ha          |

### 【具体的な施策展開】

- 信州の環境にやさしい農産物認証や国際水準GAP等、持続可能な農業への取組や各種認証取得を支援
- 輪作や緑肥の活用、捕獲作物の導入等、化学合成農薬のみに頼らないグリーン栽培の導入と面的拡大
- 果樹せん定枝等を活用した炭素貯留の取組を推進
- 諏訪湖の漁業振興に係る「諏訪湖創生ビジョン」の推進



【緑肥作物を活用した連作対策】

## 重点取組5 多様な人々が暮らし・守る農村の機能とコミュニティの維持

コロナ禍で加速したUターンや移住、二地域居住、ワーケーション等により、農村部においても農家と一般家庭の混住化が進み、生活スタイルが多様化しています。農業生産の場であるとともに、美しい景観保全や自然災害や野生鳥獣被害の軽減等、農村が有する多面的な機能を維持していくためには、多様な住民が協働、活躍できる運営組織（RMO）機能の発揮が必要です。

### 【達成指標】

| 項目                             | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|--------------------------------|----------------|----------------|
| 地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動面積 | 2,663ha        | 2,663ha        |

### 【具体的な施策展開】

- 地域で取り組む農村の多面的機能を維持する取組の推進
- 野生鳥獣の追い払い、緩衝帯や防護柵の設置等、集落ぐるみによる鳥獣被害対策の推進
- 半農半X等、農ある暮らしの実践を支援
- 農業法人による雇用や農福連携の拡大等、農村の新たな雇用の創出



【獣害対策の防護柵整備】



### Ⅲ 魅力あふれる諏訪の食

#### 重点取組 6 消費者とつながる諏訪の食

県民全体による脱炭素化やSDGsの推進により、消費行動にも新たな価値観が醸成され、エシカル消費や地産地消への関心が高まっています。

こうした気運をとらえ、諏訪地域の特徴ある農産物や、有機農業等環境にやさしい農業に対する消費者の理解を深めるためには、農業関係者が行政や小売業、飲食・宿泊業、教育機関等、地域の幅広い関係者と連携して取組める仕組みづくり等が重要です。

#### 【達成指標】

| 項目                      | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|-------------------------|----------------|----------------|
| 食育活動や農業イベントを実施する農産物直売所数 | 30店舗           | 30店舗           |

#### 【具体的な施策展開】

- 地元農産物を活用した食育や花育活動の推進
- 農産物の付加価値向上や販路開拓を図るため、他産業との連携や6次産業化との連携を推進
- 農産物直売所と連携した地元農産物をPRするイベントの実施
- 学校給食における地元農産物の利用促進



【信州伝統野菜を利用した食育体験】

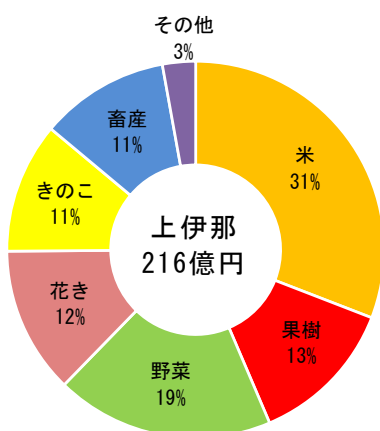
## 上伊那地域の発展方向

伊那市、駒ヶ根市、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村

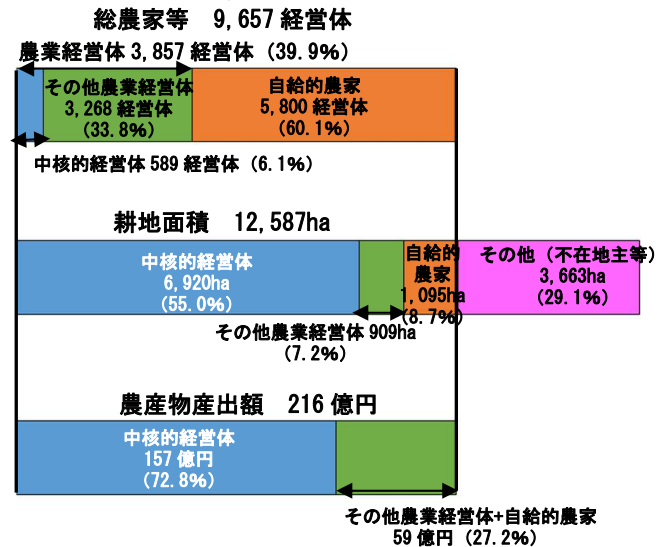
## 女性・若者も参画して未来へつなぐ活力みなぎる上伊那農業

### 農業・農村の特徴

天竜川河岸段丘地域の平坦部水田地帯と西部畑作地帯及び東部中山間地域に大別され、水田地帯では米を中心として転作作物の麦・大豆や野菜、花きを組み合わせた複合経営、中山間畑作地帯では畜産、野菜、果樹を中心とした経営が展開されています。



### 【2020年】(2020農林業センサスから推計)



### めざす姿

#### I 皆が憧れ、稼げる上伊那の農業

- 全国に先駆けて組織化した集落営農組織や中核的経営体が競争力のある効率的な経営を展開し、地域農業をけん引しています。また、新規就農者が確保・育成され、着実に経営発展しています。
- 市町村ごとに、地域農業の将来像が明確化され、担い手の確保と担い手へのスムーズな農地集積が進んでいます。
- 園芸品目の導入による経営の複合化や麦・大豆等土地利用型作物の新品種の導入により、水田農業経営体の経営体質が強化され、安定した水田農業が営まれています。
- 園芸品目は、新技術、新品種導入や適地適作等による持続的な高品質生産により、実需者からの評価が一層高まっています。また、酪農では、良質な自給飼料をふんだんに使用した、効率的で生産性の高い経営が展開されています。
- スマート農業技術の普及拡大により作業の効率化・省力化が進み、経営の安定につながっています。

#### II しあわせで豊かな暮らしを実現する上伊那の農村

- 化学肥料及び化学合成農薬の使用量を低減した栽培など、環境にやさしく、持続性の高い農業の取り組みが拡大しています。
- 多様な人々が参画した農村景観維持活動や野生鳥獣被害対策により、農業生産と豊かな農村環境が維持・保全され、活力ある農村が形成されています。

- 農業水利施設等の計画的な改修等により、災害に強い安心した農村の暮らしが確保されています。

### Ⅲ 魅力あふれる上伊那の食

- 「長野県版エシカル消費」が定着し、生産者・実需者・消費者のつながりを深める産地交流活動が推進され、地元産農産物への関心が高まり、地消地産が進んでいます。

## 施策の展開方向

### I 皆が憧れ、稼げる上伊那の農業

#### 重点取組 1 皆が憧れる経営体の育成と人材の確保

上伊那地域は米・園芸・畜産など多様な品目の供給産地ですが、高齢化等により基幹的農業従事者は減少しており、次代を担う人材の確保・育成が喫緊の課題です。産地の生産力を将来にわたり維持し、産地の更なる発展につなげていくため、市町村・JAと連携して新規就農者の確保と早期経営確立に取り組むとともに、中核的経営体の経営力強化を推進します。

#### 【達成指標】

| 項目            | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|---------------|----------------|----------------|
| 新規就農者数(49歳以下) | 23人/年          | 18人/年          |
| 中核的経営体数       | 609経営体         | 620経営体         |

#### 【具体的な施策展開】

- 関係機関が連携して取り組む相談活動等による新規就農者の確保
- 個別巡回や研修事業等により新規就農者の早期経営確立・定着を支援
- 専門家派遣や補助事業等を活用した中核的経営体の経営発展支援
- 地域農業の将来像(主な作付品目、農業利用していく区域の設定、担い手確保対策等)の明確化を支援し、担い手への円滑な農地集積を推進
- 集落営農組織の課題解決及び経営発展の支援
- 女性農業者の地域活動活性化や農業振興への参画を支援
- 農福連携など、農業経営体の労働力確保対策の検討推進



【新規就農実践塾】

#### 重点取組 2 水田農業経営体の経営発展と実需者ニーズに応える高品質米生産の推進

米の生産額が農業全体の3割を占める上伊那地域では、水田農業経営体が、需要に応じた米生産に対応しつつも、経営の維持発展を進めていくことが必要です。

このため、高品質で付加価値の高い米づくりを基本としつつ、園芸品目の導入、土地利用型作物新品種の導入及びスマート農業技術の一層の活用推進により水田農業経営体の経営発展を図ります。

### 【達成指標】

| 項目                      | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|-------------------------|----------------|----------------|
| 小麦の収量                   | 215 kg/10a     | 350 kg/10a     |
| 大豆の収量                   | 150 kg/10a     | 250 kg/10a     |
| 大規模水稲経営体におけるスマート農業技術導入率 | 25%            | 44%            |

### 【具体的な施策展開】

- 高収益作物や土地利用型作物新品種の導入と生産安定による水田農業経営体の経営体質強化
- ドローンなどスマート農業技術の麦・大豆等への利用拡大による収量安定
- 環境にやさしい農産物認証など、持続的で付加価値の高い米生産の推進
- 農作業の効率化を実現するための生産基盤の整備と農業水利施設等の長寿命化対策



【ドローンの小麦等への利用検討】

## 重点取組 3 上伊那の自然環境を活かした多品目農畜産物の持続的生産の推進

上伊那地域は、河岸段丘など恵まれた立地条件を活かした花き・野菜等の園芸品目や自給飼料基盤に根差した生乳生産が盛んな地域です。こうした品目の担い手が収益性の高い経営を展開し、実需者の信頼の高い産地が維持・発展していくため、持続的な高品質・安定生産につながる栽培技術支援や経営管理支援に取り組めます。

### 【達成指標】

| 項目               | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|------------------|----------------|----------------|
| アルストロメリアの栽培面積    | 14.7ha         | 15.2ha         |
| 白ねぎの栽培面積         | 56ha           | 62ha           |
| アスパラガスの新・改植の増加面積 | 0.5ha 増/年      | 1.4ha 増/年      |
| 乳用牛の1戸当たり平均飼養頭数  | 56.5頭          | 75.6頭          |

## 【具体的な施策展開】

- アルストロメリア・トルコギキョウの生産性向上（基本技術徹底、需要に応えるための新作物型・新栽培方法の検討と技術確立）
- 白ねぎ・アスパラガス・ブロッコリーの栽培技術平準化による生産安定と生産拡大
- 県オリジナル品種（りんご「シナノリップ」、ぶどう「クイーンルージュ®」）等の生産拡大、担い手の確保と円滑な園地継承支援
- 有機農業など環境にやさしい持続可能な農業の推進
- 飼養管理技術・自給飼料品質の向上、規模拡大・先進技術導入による畜産の生産力強化及び家畜防疫体制の強化
- 気候変動に対応した農業技術の普及及び経営リスク低減対策の推進
- ほ場条件など、経営体の状況に合わせたスマート農業技術の導入推進
- 環境や作業者の安全安心等への配慮並びに生産工程の見直し・検証による持続可能な農業生産の推進



【白ねぎの優良品種選定】

## Ⅱ しあわせで豊かな暮らしを実現する上伊那の農村

### 重点取組 4 地域ぐるみで守る、二つのアルプスに囲まれた快適な農村環境

二つのアルプスに囲まれた河岸段丘における営農活動により形成されてきた豊かな風土と景観を今後も維持していくため、地域ぐるみで取り組む農村環境の維持保全活動を支援するとともに、安心した農村の暮らしが維持できるよう野生鳥獣被害対策、農業用排水路の補修及び改修等に取り組めます。

#### 【達成指標】

| 項目                             | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|--------------------------------|----------------|----------------|
| 地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動面積 | 8,386ha        | 8,721ha        |
| 野生鳥獣による農作物被害額                  | 43百万円          | 31百万円          |

## 【具体的な施策展開】

- 中山間地域等直接支払や多面的機能支払を最大限活用した農村環境の維持・保全
- 住民自らが行う地域ぐるみの野生鳥獣被害対策の実施支援
- 地域の生活を支える基幹農道の改修・整備、災害を未然に防止するための水路等の補強・改修



【共同活動で管理された法面・水路】

### Ⅲ 魅力あふれる上伊那の食

#### 重点取組 5 生産と消費を結ぶ上伊那の食の展開

上伊那地域で生産される多様な農産物がこれまで以上に消費者に認知され、盛んに消費されるよう、地消地産活動（直売所の活性化、学校給食への地元産農産物の提供、農村女性グループによる食農教育、郷土食の伝承活動など）を更に進めるとともに、地元産農産物とその活用方法のより効果的な情報発信、生産者・実需者・消費者がつながる交流活動等を推進します。

##### 【達成指標】

| 項目                           | 2021 年度<br>(現状) | 2027 年度<br>(目標) |
|------------------------------|-----------------|-----------------|
| 売上額 1 億円を超える農産物直売所の売上高       | 21.7 億円         | 23 億円           |
| 学校給食における県産食材の利用割合<br>(品目ベース) | 52%             | 54%             |

##### 【具体的な施策展開】

- 地域や産地の魅力を伝える交流活動や、長野県版エシカル消費のPRと合わせた地域内農畜産物の情報発信等による地消地産の推進
- 地域活性化や消費者ニーズに応える農産物直売所の機能強化
- 地域農業への理解を深める「食育」「農育」の推進



【伝統野菜の料理教室】



## 南信州地域の発展方向

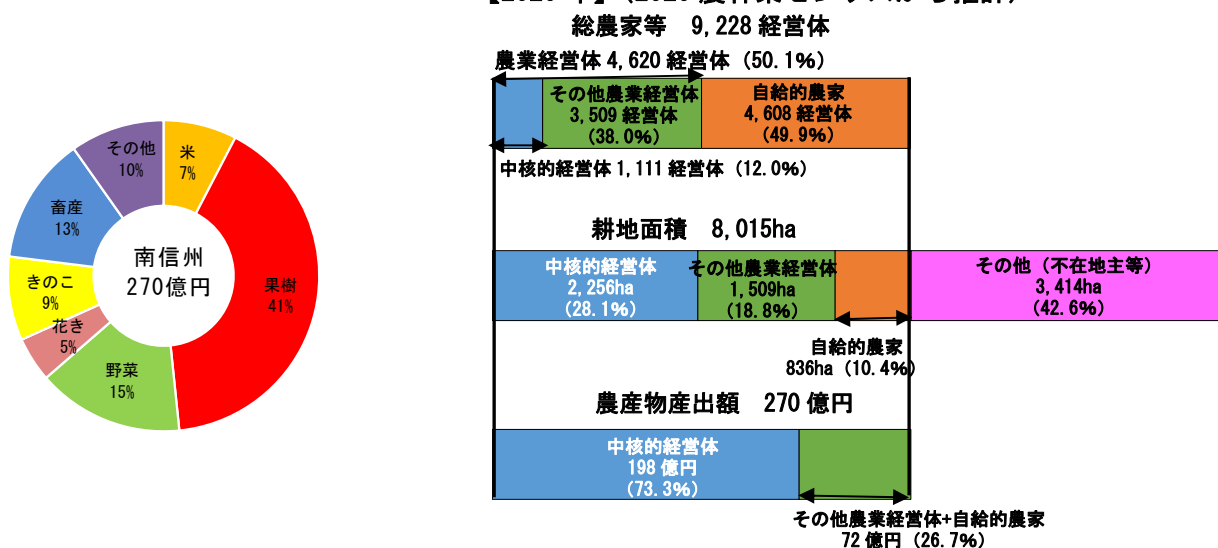
飯田市、松川町、高森町、阿南町、阿智村、平谷村、根羽村、下條村、売木村、天龍村、泰阜村、喬木村、豊丘村、大鹿村

## 皆でつなぐ 南信州農業の新たな時代

### 農業・農村の特徴

南信州地域は、山間傾斜地が多く 1 戸当たりの耕地面積が狭いものの、温暖な気候や標高差を生かし、果樹、野菜、花き栽培、肉用牛、養豚等の畜産など、多品目生産による複合経営が展開されています。中でも、農業産出額の 1 位を果樹が占め、長野県を代表する果樹産地の一つです。

#### 【2020 年】（2020 農林業センサスから推計）



### めざす姿

#### I 皆が憧れ、稼げる南信州の農業

- 新規就農者、中核的経営体、定年帰農者など多様な担い手により、南信州地域の特性を活かした農業経営が展開されています。
- 円滑な樹園地継承や新品種・新技術の導入により県内有数の果樹産地が維持・発展しています。
- 地域の特徴を生かした野菜、花き、きのこ、畜産等の多品目生産による安定した複合経営が展開されています。

#### II しあわせで豊かな暮らしを実現する南信州の農村

- 地域の話合いを通じて地域農業の将来像が明確化し、担い手の確保や適切な農地利用が図られています。
- 地域活動により維持された農村景観が観光利用されるなど、農村の多面的機能が十分に発揮されています。
- 農業水利施設の計画的な改修や、地すべり防止施設の整備更新により、安全で災害に強い地域づくりが進んでいます。

### Ⅲ 魅力あふれる南信州の食

- リニア中央新幹線開業や三遠南信自動車道開通によるつながり人口の増加を見据えて、南信州らしい「食」を介した交流の促進や「観光＋農業」が一層盛んになっています。
- 食育・農育を通して、子どもたちや家族等へ、地元の「農」や「食」への理解が深まり、地産地消が更に定着しています。

## 施策の展開方向

### I 皆が憧れ、稼げる南信州の農業

#### 重点取組1 皆が憧れる農業の担い手の確保・育成

農業経営体の減少スピードが加速化し、農業の担い手確保・育成の強化が必要であり、皆が憧れるような農業の実践が求められています。

##### 【達成指標】

| 項目            | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|---------------|----------------|----------------|
| 新規就農者数(49歳以下) | 41人/年          | 30人/年          |
| Iターン就農者数      | 8人/年           | 8人/年           |

##### 【具体的な施策展開】

- 県、市町村、JAが連携し、地域の特徴を踏まえた就農作戦会議や相談活動による担い手の確保
- 研修事業及び経営発展支援等の充実による地域農業をリードする担い手の育成強化
- 中核的経営体の資質向上及び多様な担い手の支援



【スキルアップセミナー農業機械講】

#### 重点取組2 新技術や新品種拡大による競争力の強い果樹産地づくり

後継者不足、老朽化園の増加などで産地の維持に懸念が生じており、新たな品種への転換、早期多収・省力化技術の拡大等が必要です。

##### 【達成指標】

| 項目                         | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|----------------------------|----------------|----------------|
| 日本なしの早期多収省力栽培技術導入面積        | 4.6ha          | 10ha           |
| 担い手への市田柿集積面積<br>(農地中間管理事業) | 5.7ha/年        | 6ha/年          |

### 【具体的な施策展開】

- 日本なし産地再生プロジェクトにより、J A等関係機関と連携し、担い手確保、新たな技術の導入及び園地の整備等に取り組み、稼げる産地の再構築を推進
- りんご高密度植栽培など省力化・生産性向上の推進と県オリジナル品種の戦略的拡大
- 市田柿の円滑な樹園地継承と「市田柿+α」複合経営の推進
- シャインマスカットやナガノパープル、クイーンルージュ<sup>®</sup>等無核大粒品種の生産拡大によるぶどうの産地化



【なし樹体ジョイント仕立て栽培】

## 重点取組 3 南信州らしさを活かした複合産地の構築

多品目複合産地の振興や、南信州に適したスマート農業技術の導入による省力化と生産性の向上、環境への負荷低減、気候変動への対応等が必要です。

### 【達成指標】

| 項目                | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|-------------------|----------------|----------------|
| きゅうり・アスパラガス施設面積   | 36ha           | 39.5ha         |
| 農業用マルチローターによる防除面積 | 21ha           | 70ha           |

### 【具体的な施策展開】

- きゅうり・アスパラガス・白ねぎの生産安定
- ダリア等主力品目花き生産への支援
- きのこのロス率低減による経営安定や異物混入対策の推進
- 南信州牛（信州プレミアム牛肉を含む）・銘柄豚などの生産拡大及び家畜防疫対策の徹底
- スマート農業技術の導入による省力化や生産性向上の推進
- 環境への負荷を低減した有機農業等の持続可能な農業の推進
- 気候変動に対応した技術の導入及び経営継続のためのリスク対策の推進



【マルチローターによる水稲防除】

## Ⅱ しあわせで豊かな暮らしを実現する南信州の農村

### 重点取組 4 皆でつなぐ豊かな農村

地域の話合いにより、地域農業の将来像を明確化し、守るべき農地の適切な利用が必要です。また、農業水利施設や地すべり防止施設等の計画的な整備更新が必要です。

### 【達成指標】

| 項目                     | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|------------------------|----------------|----------------|
| 農業水利施設の整備箇所数（計画期間内整備量） | —              | 5か所            |
| 防災重点農業用ため池の耐震性診断実施箇所数  | 9か所            | 31か所           |

### 【具体的な施策展開】

- 地域の話合いにより守るべき農地と担い手を明確化
- 伝統野菜や茶などの豊かな食文化や栽培技術の継承を支援
- 集落機能を維持するため、野生鳥獣被害対策などを支援
- 農村の多面的機能の維持と活用促進
- 水路など農業用施設の長寿命化、農村地域における防災対策の推進



【補修が必要な水路トンネル】

## Ⅲ 魅力あふれる南信州の食

### 重点取組5 リニア新時代 世界に通用する農村交流の体制構築

リニア中央新幹線開業と三遠南信自動車道開通により交流の拡大が見込まれ、市田柿、伝統野菜など地域食材を介した交流の促進に向けた受入体制の構築が必要です。

#### 【達成指標】

| 項目       | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|----------|----------------|----------------|
| 都市農村交流人口 | 38,882人        | 200,000人       |

### 【具体的な施策展開】

- つながり人口増加を見据えた直売所の支援、「観光＋農業」の推進
- 伝統野菜、南信州牛など地域食材等を取り入れた「食」を介した交流の促進
- 食品企業との連携による地域農産物の活用を促進
- 市田柿における地理的表示（G I）保護制度の活用や地域農産物の生産工程管理支援による海外ブランド強化と輸出促進



【農家とシェフの情報交換】

### 重点取組6 農や食への理解醸成

学校給食等を通じた食育、農育を一層推進し、地域食材や環境にやさしい農産物への理解を深めることにより、地産地消などエシカル消費の促進が必要です。

#### 【達成指標】

| 項目                           | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|------------------------------|----------------|----------------|
| 学校給食における県産食材の利用割合<br>(品目ベース) | 53%            | 55%            |
| 学校と連携した地域農産物に係る情報提供の回数       | —              | 6回/年           |

### 【具体的な施策展開】

- 農業体験会の開催など教育現場や飲食店関係者等との協働による食育・農育の強化
- エシカル消費を推進するため、地域農産物などの利用を促進
- 市田柿など地域農産物の魅力発信



【大豆「つぶほまれ」栽培による食育活動】

## 木曽地域の発展方向

上松町、南木曽町、木曽町、木祖村  
王滝村、大桑村

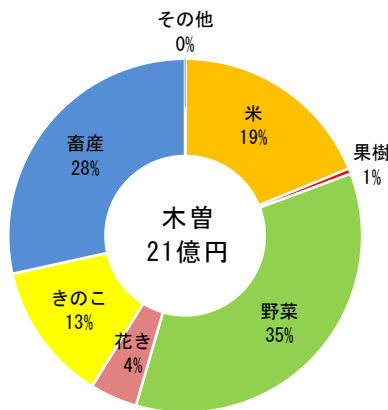
## 未来につながる木曽の豊かな農業・農村と食

### 農業・農村の特徴

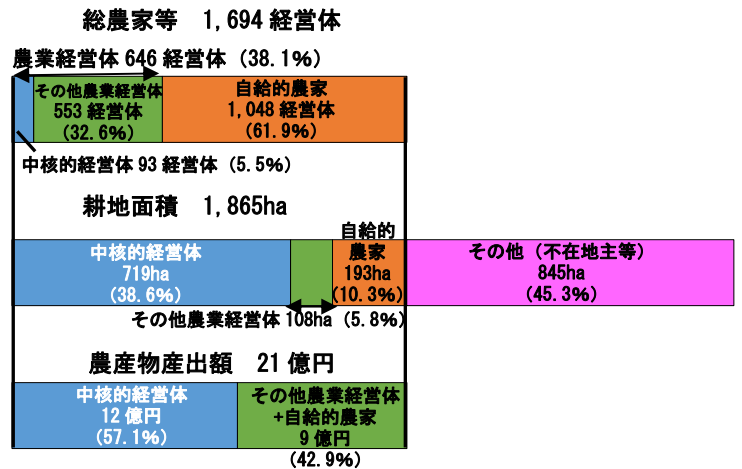
木曽川の本支流沿いには、小区画な農地が点在し、水稻、そば、飼料作物などの営農が中心となっています。一方、木曽町開田高原や木祖村西山地域には圃場整備された優良農地が広がり、夏季の冷涼な気候を生かした“御嶽はくさい”等の高原野菜や、そばの産地が形成されています。畜産業は古くから“木曽子牛”として全国供給される産地です。

日本遺産に登録された文化財や、自然豊かな景勝地には大勢の観光客等が訪れ、飲食店では地元根付き守られてきた食文化（木曽牛、そば、すんき、赤カブ、ほおぼまき等）で来訪者をもてなしています。

木曽地域全体で、少子高齢化に伴う産業の担い手不足が進行し、地域機能の維持が重要課題となっています。



### 【2020年】（2020農林業センサスから推計）



## めざす姿

### I 皆が憧れ、稼げる木曽の農業

- 担い手への農地集積や、新規就農者が円滑に農地の確保を行うための「地域計画」が作成され、農地の有効活用が図られています。
- 「御嶽はくさい、木曽牛」産地では農業DXが進み、多様な担い手が活躍しています。
- 地域に根差した飼料生産と、新たな技術（スマート農業技術等）を導入した安定的な畜産（和牛子牛出荷）が行われています。
- 木曽を愛する多様な担い手が活躍し、新たな品目の生産が拡大しています。（野菜・花き・特産）
- 実需者が求める品質・数量の米、そばが安定供給されています。



## Ⅱ しあわせで豊かな暮らしを実現する木曽の農村

- DXが進展し、木曽を楽しむ半農半X、定年帰農者等多様な担い手が活躍し、農村集落との関わり合いが強まっています。
- 自然災害や野生鳥獣被害の少ない安全安心で豊かな農村環境（景観）を維持しています。

## Ⅲ 魅力あふれる木曽の食

- 木曽地域を訪れる観光客等をおもてなしする飲食店、直売所や加工所と連携した、伝統的食材が安定供給されています。
- 子供達が木曽の伝統食材に触れ、農業農村の大切さを将来につなげる活動が行われています。

### 施策の展開方向

#### I 皆が憧れ、稼げる木曽の農業

##### 重点取組 1 多様な担い手が支えあう木曽の農業・農村

農業従事者の高齢化が進行しており、経営の継続が困難な農家が増加しています。担い手不足は、農業生産量の減少や遊休荒廃地の増加だけでなく、集落機能の維持にも影響を及ぼしています。

「人・農地プラン」の法定化に伴い、市町村が担い手への農地集約化を明確化した「地域計画」の策定が義務付けられました。

新規就農者は、年間2名程度を確保していますが、木曽地域の実情を考慮しながら、IUターン就農や定年帰農者等の多様な担い手を確保していきます。

##### 【達成指標】

| 項目              | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|-----------------|----------------|----------------|
| 地域計画（人・農地プラン）の数 | 22             | 22             |
| 新規就農者数（49歳以下）   | 3人/年           | 1人/年           |

##### 【具体的な施策展開】

- 地域の関係者が一体となって話し合い、目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する「地域計画」の策定・実行を支援
- 就農相談会、移住・定住フェア等での木曽農業の情報発信、PRによる担い手確保対策の推進
- 新規就農里親研修事業等を活用した新規就農者の育成
- 農業入門講座の開催による定年帰農者への支援
- 高校と連携した食の魅力発信と、高校生の就農への意欲を向上



【研修生への個別支援】



## 重点取組2 木曾ブランドを支える産地づくり（土地利用作物、園芸品目、畜産振興）

農業者の高齢化や担い手不足による生産力等を補うため、地域農業のDX、スマート農業等、新技術の積極的な導入により、立地条件を活かした「御嶽はくさい」「木曾子牛」の木曾ブランドを中心として、市場ニーズに応える産地（良質米、花き・花木類）強化を推進していきます。

### 【達成指標】

| 項目          | 2021年度<br>（現状） | 2027年度<br>（目標） |
|-------------|----------------|----------------|
| 米の1等米比率     | 78.9%          | 85%            |
| 御嶽はくさい栽培面積  | 50ha           | 45ha           |
| 木曾子牛出荷頭数    | 5.7頭／戸         | 6.0頭／戸         |
| 花き・花木類の栽培面積 | 2.3ha          | 2.4ha          |

### 【具体的な施策展開】

- 斑点米カメムシにおける病害虫防除組合のドローンによる適期防除支援と生産者への防除基本技術の徹底、及び収穫適期情報の提供による適期収穫の推進で1等米比率向上
- スマート農業技術等の導入による御嶽はくさいの品質及び生産性の向上
- 畜産クラスター協議会と連携したクラスター事業の推進
- 地域に適応した花き・花木の生産支援



【ドローンによる防除】

## Ⅱ しあわせで豊かな暮らしを実現する木曾の農村

### 重点取組3 みんなが生き生き暮らせる、持続可能な農村づくり

野生鳥獣害による農作物被害は、農産物の生産を減少させるだけでなく、農業者の耕作意欲を減退させ、農地の荒廃化に繋がり、農地や農村環境が持つ多面的機能を低下させ、地域の集落機能にも影響を及ぼしています。

農地や農村環境の維持や野生鳥獣害対策等について、農業者だけでなく多様な地域住民が協力して行う地域活動や体制づくりを支援していきます。

また、農業用水等の地域資源を活用した小水力発電施設の整備により、持続可能な農村づくりを推進します。

### 【達成指標】

| 項目                             | 2021 年度<br>(現状) | 2027 年度<br>(目標) |
|--------------------------------|-----------------|-----------------|
| 野生鳥獣被害額                        | 12.8 百万円        | 11.8 百万円        |
| 地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動面積 | 493ha           | 489ha           |
| 農業用水を活用した小水力発電の設備容量            | 34.4kw          | 366kw           |

### 【具体的な施策展開】

- 関係者一丸となった捕獲、防除、環境整備等の野生鳥獣被害対策の推進
- 多面的機能支払及び中山間直接支払事業の一層の PR による取組拡大と活動支援
- 多面的機能支払事業の事務手続き研修会、水路等の維持補修に関する講習会の開催
- 農業用水を活用した小水力発電施設の整備推進及び技術的支援



【上松町吉野発電所】

## Ⅲ 魅力あふれる木曾の食

### 重点取組 4 木曾ならではの食による地産地消と食育の推進

木曾の伝統食である木曾牛、伝統野菜やすんき、そば等を「木曾ならではの食」として次代に継承していくため、さらなる地元の理解と地産地消を進めるとともに、観光客や郡外への PR を推進します。

### 【達成指標】

| 項目                       | 2021 年度<br>(現状) | 2027 年度<br>(目標) |
|--------------------------|-----------------|-----------------|
| 伝統食材提供店舗数（木曾牛、すんき、木曾産そば） | 57 店            | 60 店            |
| 伝統野菜の栽培面積<br>(王滝蕪他 6 品種) | 2.1ha           | 2.1ha           |

### 【具体的な施策展開】

- 「木曾ならではの食材」を扱う店舗と連携した木曾地域の魅力発信
- 担い手不足や形質の保存等生産組織ごとの実情に応じた  
伝統野菜の継承支援による栽培面積の維持
- 小中学校を対象とした食育授業等による地元農産物への理解促進と  
地産地消



【木曾の赤かぶ】

## 松本地域の発展方向

松本市、塩尻市、安曇野市、麻績村、生坂村  
山形村、朝日村、筑北村

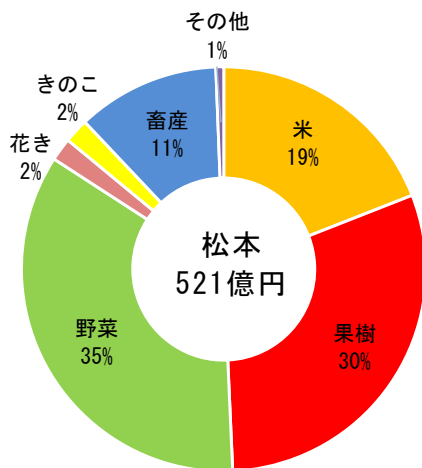
## 持続可能な農業新時代 ～継承しよう豊かな食と農～

### 農業・農村の特徴

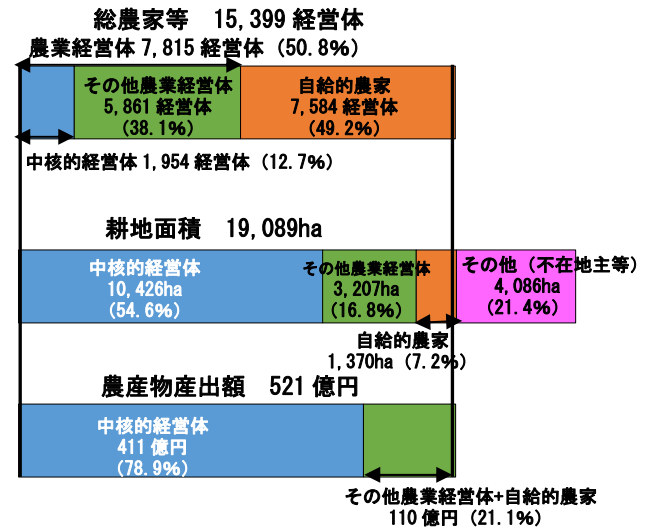
松本地域は、機械化の進んだ土地利用型農業の水稻・麦・大豆、新技術の導入や冷涼な気候を活かした園芸品目の野菜・果樹、付加価値の高い施設園芸の花き・野菜、飼養衛生管理の行き届いた畜産及び、清らかで豊富な湧水に恵まれた水産・わさび等、多種多様な農産物が生産される県内屈指の産地です。

地域の担い手は、認定農業者をはじめとする中核的経営体、大規模経営の農業法人のほか、集落営農組織があり、それぞれ高い技術で持続的に産地をけん引しています。

現在、農業分野におけるICT化が急速に進み、施設園芸のほか、土地利用型作物や畜産にもスマート機器が導入されるなど、農業新時代を迎えています。



### 【2020年】(2020農林業センサスから推計)



### めざす姿

#### I 皆が憧れ、稼げる松本の農業

- 地域の就農希望者受入体制が整い、毎年多くの新規就農者が確保され、次代を担う若手農業者が育っています。
- 農業をけん引する中核的経営体が集積・集約された基盤を活用し、農業用水の安定供給により、効率的で生産性の高い営農を展開しています。
- 安全安心で環境にやさしい生産技術を基本として、県オリジナル品種等マーケットニーズに応える高品質な農産物の生産や新技術の導入により、信頼される総合供給産地として発展しています。

## II しあわせで豊かな暮らしを実現する松本の農村

- 農業者や地域住民など地域ぐるみの協働により、魅力ある農村の景観や多面的機能が農村コミュニティとともに維持されています。
- 下流への影響度が大きい農業用ため池について、豪雨や地震への耐性が把握・評価され、耐震化工事などの対策が取られているとともに、低水管理による雨水貯留の取組に伴い流域治水機能が向上しています。
- 農地・農業用施設災害や野生鳥獣被害が軽減し、安定した生産や豊かな暮らしが確保されています。

## III 魅力あふれる松本の食

- SDGs やエシカル消費などの関心が高まり、地元農産物の消費が伸びています。
- 松本地域の農産物や加工品の販売、飲食店等における地域食材を活用した食事の提供を通じて、豊かな自然や食材の持つ物語が地域の魅力として享受されています。
- 学校や地域における食育活動により、「食と農」の大切さが理解され、松本地域の食文化を愛する心が次世代に継承されています。

### 施策の展開方向

#### I 皆が憧れ、稼げる松本の農業

##### 重点取組 1：農業を担う経営体の育成と人材の確保

米をはじめ野菜、果樹及び畜産物など、総合供給産地としての体質強化を図るため、市村やJA等と連携して、地域農業のけん引役となる「中核的経営体」の確保に向けて、新規就農者の掘り起こし、集落営農組織の育成、経営体の経営力強化を進めます。

##### 【達成指標】

| 項目              | 2021 年度<br>(現状) | 2027 年度<br>(目標) |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| 中核的経営体数         | 1,924 経営体       | 2,040 経営体       |
| 新規就農者数 (49 歳以下) | 34 人/年          | 27 人/年          |

##### 【具体的な施策展開】

- 新規就農者の確保及び、栽培技術・経営管理の習得等による育成と地域への定着を支援
- 地域計画（人・農地プラン）の実行や、担い手を対象とした支援策の活用等による中核的経営体の確保・育成と経営の安定・発展を支援



【新規就農者現地指導】

##### 重点取組 2：持続的な農畜産物の生産と安定供給

ニーズの高い県オリジナル品種をはじめとする多彩な農畜産物を生産供給するブランド力の高い産地として、引き続きその維持発展を図ります。

さらに、生産性向上や省力化が期待されるスマート農業等、新しい技術を積極的に導入すると

ともに、環境にやさしい生産方式や生産工程の改善等を目指した取組を一層推進します。

**【達成指標】**

| 項目                 | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|--------------------|----------------|----------------|
| りんご高密度植栽培導入面積      | 116ha          | 150ha          |
| 小麦「しろゆたか」の栽培面積     | 1 ha           | 250ha          |
| 夏秋イチゴ「サマーリリカル」の生産量 | 18 t           | 27 t           |
| 自給飼料作物の栽培面積        | 478ha          | 485ha          |

**【具体的な施策展開】**

- 環境負荷低減技術、温暖化に対応した生産技術及びスマート農業の拡大を支援
- 県育成品種の生産拡大と品質向上を支援
- 樹園地継承による園地と産地の若返りを推進
- すいか、ながいも、わさび等の地域ブランド品目の生産安定と販路拡大を支援
- 飼養衛生管理の徹底及び危機管理体制の強化
- 信州ブランド魚の安定生産を支援



【りんご高密度植栽培ほ場  
剪定指導会】

**重点取組 3 : 基盤整備の推進と農地の効率的活用**

規模拡大や高収益作物への転換等による一層の経営力強化と効率化に向けて、市村等関係機関・団体と連携し、生産基盤の整備・汎用化等を計画的に推進するとともに、農地利用についても更に集積と集約化を進めます。

**【達成指標】**

| 項目                            | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|-------------------------------|----------------|----------------|
| 農業用水を安定供給するために重要な農業水利施設の整備箇所数 | 2 箇所           | 4 箇所           |

**【具体的な施策展開】**

- 営農効率を高めるため、水田の汎用化等の基盤整備を推進
- 水管理の省力化と用水の安定供給のため、長寿命化計画に基づく水利施設の更新を推進
- 地域計画（人・農地プラン）の実行に向けて、農地中間管理事業等による中核的経営体への農地利用の集積・集約を促進



【更新した新村堰水路（松本市）】



## Ⅱ しあわせで豊かな暮らしを実現する松本の農村

### 重点取組 4：安全安心で持続可能な農業・農村の活性化

松本地域の農山村において、豊かな風土や地域の特色を活かした農業を維持継承するため、担い手の確保育成、農産物生産や農村コミュニティの活性化等を支援します。

野生鳥獣対策及び、風食対策等市村・JA等と連携して有効な対策を講ずるとともに、気象災害への備えとして、生産者の農業保険制度等への加入促進などを支援します。

集中豪雨や地震が頻発して発生する中、松本地域の農山村において、豪雨対策・地震対策が必要な農業用ため池等施設の耐性評価と防災工事を実施・支援し、災害から暮らしを守る農業農村の強靱化を図ります。

#### 【達成指標】

| 項目                             | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|--------------------------------|----------------|----------------|
| 農業用ため池の地震耐性評価の実施箇所数            | 27か所           | 95か所           |
| 地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動面積 | 11,622ha       | 11,846ha       |

#### 【具体的な施策展開】

- 対策が必要な防災重点農業用ため池への地震耐性評価と防災工事の実施
- 農業用ため池の低水管理に伴う雨水貯留による流域治水対策の推進
- 地すべり防止施設等の長寿命化の推進
- 用水路等の維持や農産物生産の継続のほか、住民参加による地域活動の活性化を支援
- 野生鳥獣による被害軽減のための防護柵の設置・管理など地域ぐるみの取組を促進
- 風食対策に向けた緑肥作物等の利用促進
- 荒廃農地の発生防止と再生を進め、需要のある作物生産での活用を推進



【風食対策ハゼリソウ栽培試験】

## Ⅲ 魅力あふれる松本の食

### 重点取組 5：松本地域の食材を活かした地産地消や食育活動の推進

地域の消費者や観光客からニーズの高い新鮮で多彩な野菜・果実・養殖魚などやその加工品について、一層の販売促進や情報発信の強化に取り組むとともに、観光業や食品加工業等との連携によりエシカル消費を推進します。

また、「食や農」への関心を高めるため、継続的な食育活動の取組を進めます。

#### 【達成指標】

| 項目                           | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|------------------------------|----------------|----------------|
| 学校給食における県産食材の利用割合<br>(品目ベース) | 54%            | 56%            |

## 【具体的な施策展開】

- 農産物直売所等の魅力向上と地域食材の持つ物語を情報発信
- 農業体験や地域の食文化の伝承など食育活動を行うグループの育成と活動を支援
- 米粉の利用拡大の推進



【食育 味覚の授業】

## 北アルプス地域の発展方向

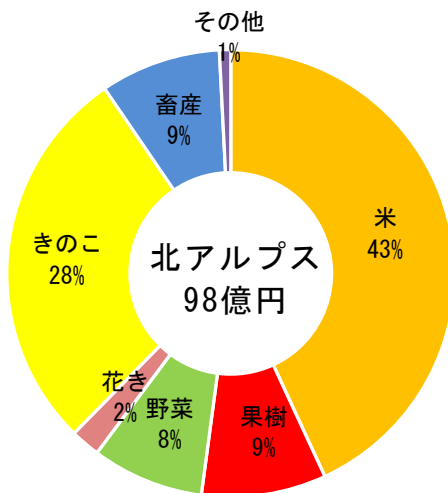
大町市、池田町、松川村、  
白馬村、小谷村

## 「人」と「食」がつながる北アルプス山麓の農業・農村

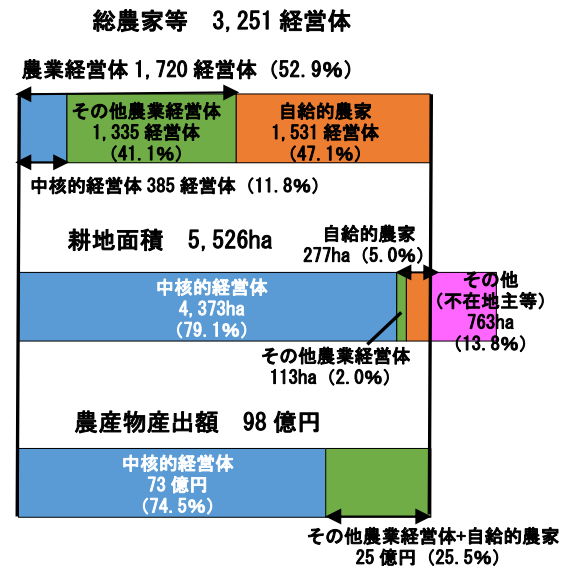
### 農業・農村の特徴

北アルプス山麓に広がる盆地で標高が高く、冷涼な空気と清冽な水、昼夜の気温差が大きい環境下で水稲を中心とした農業経営が営まれています。

また、りんご、ワイン用ぶどう、白ネギ、アスパラガス、加工業務用野菜等地域の立地条件を活かした農産物生産が展開されています。



### 【2020年】(2020農林業センサスから推計)



### めざす姿

#### I 皆が憧れ、稼げる北アルプスの農業

- 地域農業を支える経営管理能力に優れた中核的経営体の継承者が確保されています。
- 多様な担い手（移住者・高齢者・女性農業者等）が活躍する場が確保されています。
- 次世代を見据えた農地条件の改善が基盤整備事業により進められ、水稲栽培が省力化され、高収益作物の導入が図られています。
- 土地利用型作物の低コスト・省力化技術、自動給水栓や可変施肥田植機などのスマート農業技術が定着しています。
- 水田の汎用化や畑地化が進み収益性の高い品目（施設イチゴ、ミニトマト、玉ネギ、白ネギ等）の栽培面積の拡大と安定生産が行われています。
- 環境保全型農業に取り組む中で、地域内の堆肥等資源が土づくりに活用されています。

## II しあわせで豊かな暮らしを実現する北アルプスの農村

- 日本型直接支払制度の活用等により農地及び農村の景観が保全されています。
- 移住者や企業などを含めた多様な主体の参画による地域ぐるみでの農村地域の維持管理のための活動が行われています。
- 農業用ため池、水田等を活用した治水対策の取り組みが行われています。
- 地すべり防止施設の適正な維持更新が行われ、農村地域の暮らしが守られています。
- 農業用水を活用した小水力発電施設が導入され、農業水利施設の維持管理費の負担が軽減されるとともに、ゼロカーボンの取組にも貢献しています。

## III 魅力あふれる北アルプスの食

- 地域の優れた特産品が北アルプス山麓ブランドとして認定され、知名度が向上しています。
- SDGs やエシカル消費への関心が高まり、誘客や地元産農産物の購入が拡大しています。
- 農作業体験による食育を通じ、次代を担う若者への地域の食文化が継承されています。
- 自然と調和した農業環境が観光資源として活用されています。

### 施策の展開方向

#### I 皆が憧れ、稼げる北アルプスの農業

##### 重点取組 1 北アルプス地域の農業を支える担い手の確保・育成

人・農地プランで位置づけられた中核的経営体への農地の利用集積を進めます。

効率的な経営の実践に向けて、水田農業の複合化や経営管理能力の向上を進めます。

また、就農人口が減少する中で、多様な担い手の確保や経営安定のための支援が必要とされており、大規模経営体や集落営農組織を支える労働力の確保を進めます。

##### 【達成指標】

| 項目             | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|----------------|----------------|----------------|
| 中核的経営体数        | 423 経営体        | 500 経営体        |
| 新規就農者数 (49歳以下) | 4人/年           | 6人/年           |

##### 【具体的な施策展開】

- 北アルプス地域農業の将来像の明確化による担い手確保と農地集積の推進、人・農地プランの法定化に伴う「地域計画」の策定を推進
- 北アルプス農業をけん引する中核的経営体の確保・育成を図るため、就農サポートと経営サポートを一元化した支援体制を構築
- 新規就農者の確保・育成と、支え手として多様な人材の確保



【中核的経営体への支援】

## 重点取組 2 新技術の活用、持続可能な生産、稼ぐ産地を支える基盤整備の促進

水稻の大規模化(基盤整備)、新技術の活用による低コスト・省力化と、大豆、そば等の生産安定・品質向上を進めます。

また、環境負荷を低減した持続可能な農業の面的な拡大を進めます。

### 【達成指標】

| 項目                         | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|----------------------------|----------------|----------------|
| 大規模水稻経営体におけるスマート農業技術導入率    | 38%            | 57%            |
| 機械収穫適正に優れた大豆品種「すずみのり」の栽培面積 | 5ha            | 100ha          |
| 信州の環境にやさしい農産物認証制度取得面積・認定件数 | 156.1ha<br>44件 | 170.0ha<br>49件 |
| 稼ぐ産地を支える基盤整備(区画拡大等)の実施面積   | 27ha           | 82ha           |

### 【具体的な施策展開】

- 高密度播種育苗・精密田植え技術など新技術を活用した低コスト・省力稲作の推進及びスマート農業技術の活用による生産の効率化
- 環境負荷を低減した持続的な農業(有機農業など)の面的拡大を推進
- 中核的経営体の経営安定に向けた基盤整備事業の推進及び導入口品の生産安定等を支援



【スマート農業技術の実証】

## 重点取組 3 実需者ニーズの高い園芸作物の産地づくり

地域の立地条件を活かした県オリジナル品種等、園芸品目の生産振興を進めるとともに、基盤整備ほ場の物理性の改善や、水田への収益性の高い新たな品目の導入により、高品質安定生産を目指した収益性の高い園芸産地づくりを進めます。

### 【達成指標】

| 項目                    | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|-----------------------|----------------|----------------|
| 高収益作物の導入を可能にする農地の整備面積 | 3.1ha          | 13.0ha         |



### 【具体的な施策展開】

- りんご、ぶどう等県オリジナル品種を中心とした新植及び改植、園地更新等の推進及び品質向上に向けた技術支援を実施
- 水田への収益性の高い新たな品目導入のために、必要な機械等の導入に向けた補助事業の活用支援
- 基盤整備ほ場の物理性の改善のため、緑肥作物の作付け、カットブレーカー等対策の実施



【基盤整備地における物理性改善対策】

## Ⅱ しあわせで豊かな暮らしを実現する北アルプスの農村

### 重点取組 4 暮らしの場としての農村の振興

高齢化や少子化による人口減少により、地域の共同活動や多様な人々との交流、野生鳥獣害対策等に取り組みます。

また、農業用水を活用した小水力発電施設の導入により、農業水利施設等の維持管理費の負担軽減やゼロカーボンの取り組みを進めます。

#### 【達成指標】

| 項目                            | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|-------------------------------|----------------|----------------|
| 地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持発揮するための活動面積 | 4,122ha        | 4,202ha        |
| 農業用水を活用した小水力発電施設の設置箇所数        | 1か所            | 2か所            |

### 【具体的な施策展開】

- 多面的機能を維持するため、地域住民を主体に企業との連携による地域ぐるみの協働活動のほか、住民主体で行う野生鳥獣被害防止対策の取組支援
- 農業水利施設の長寿命化対策による農業用水の安定供給と水田営農の支援
- 農村型の地域運営組織の組織化による農村コミュニティの維持
- 小水力発電所の設置による再生可能エネルギーの活用



【景観形成のための共同活動】

### 重点取組 5 北アルプス山麓ブランド等を活用した地域振興

北アルプス山麓の豊かな自然の中で生産された農産物を活用した特産品づくりや情報発信、販路の開拓、また、観光業と連携した販売促進による地域の活性化に取り組みます。

### 【達成指標】

| 項目               | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|------------------|----------------|----------------|
| 北アルプス山麓ブランド認定品目数 | 123品           | 140品           |

### 【具体的な施策展開】

- 気象条件や立地条件など北アルプス山麓の特色を活かし生産された農畜産物や加工品を「北アルプス山麓ブランド」として認定
- 北アルプス山麓ブランド認定事業者に対する輸出に向けた商談会等の支援の実施
- 観光業者と連携した販売促進の実施
- 販売箇所の拡大、共同イベントの開催



【北アルプス山麓ブランド商談会】

## Ⅲ 魅力あふれる北アルプスの食

### 重点取組 6 多彩な農村資源を活用した食の地消地産と食育の推進

学校給食等への食材供給を推進するため、地元農産物等の持続的・安定的な地消地産の供給体制の構築を進めます。

また、地域の風土・伝統文化等の農村資源を活かした学習旅行等、農業体験を提供できる取組の充実や児童・生徒、一般消費者への食の地産地消を始めとするエシカル消費に対する関心と理解の醸成に取り組みます。

### 【達成指標】

| 項目                       | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|--------------------------|----------------|----------------|
| 学校給食における県産食材の利用割合（品目ベース） | 47%            | 48%            |
| 食農教育、農業・農村体験交流活動の実施回数    | 33回            | 35回            |

### 【具体的な施策展開】

- 学校給食等給食事業者が求める農産物の生産組織の育成と供給体制の整備
- 農村生活マイスター等を核とし、栄養教諭等と連携した児童・生徒への食育活動による次世代への食文化の継承
- 農村女性セミナーの開催による若手農業リーダーの育成
- 観光と連携した学習旅行等の受け入れ、収穫体験等の充実



【農村生活マイスター食育活動】

## 長野地域の発展方向

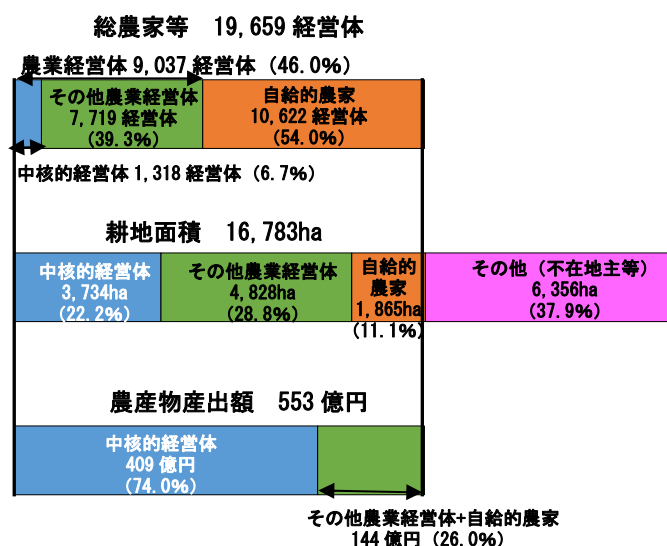
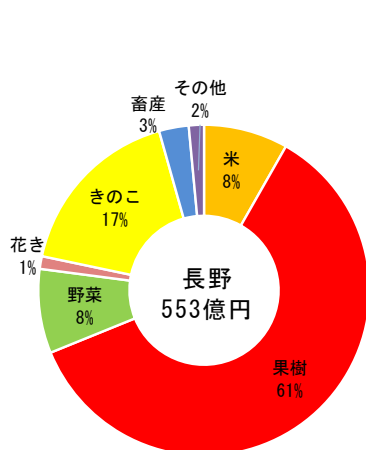
長野市・須坂市・千曲市・坂城町・小布施町  
高山村・信濃町・飯綱町・小川村

## 人と人がつながり力強く未来へ躍進する長野農業

### 農業・農村の特徴

長野地域は千曲川沿いに開けた平坦な善光寺平と周辺の山間部の二つの地域に区分されます。耕地は標高 330m から 1,100m に位置し、気象・立地条件を巧みに活かした適地適作による産地化が図られ、全域にわたって多様な農業が展開されています。特に果樹は多品目が栽培されており、りんご、ぶどう、ももの産出額が県内第 1 位となっています。

【2020 年】（2020 農林業センサスから推計）



### めざす姿

#### I 皆が憧れ、稼げる長野の農業

- 地域の基幹的作物である果樹を中心に新規就農者の参入などにより担い手が確保され、皆が活躍しています。
- 農業用水が安定供給され、省力化栽培方式、県オリジナル品種の導入が拡大し、全国トップクラスの果樹産地“ながの”が発展しています。
- 立地条件を活かした野菜、花き、穀物など多様な農畜産物が、環境負荷を低減した栽培方式や地域の条件に適したスマート農業技術により生産されています。

#### II しあわせで豊かな暮らしを実現する長野の農村

- 地域住民と移住者の協働により農村を支える体制が構築され、さらに自治会や社会福祉協議会などとの連携が進み、農村の集落機能や自治機能が維持されています。
- 排水機場の更新などの防災工事が実施され、安心して暮らせる農村が形成されています。

### Ⅲ 魅力あふれる長野の食

- 農産物直売所を中心とした地域内消費が拡大し、長野地域で守り育てた「食」が継承されています。
- 学校、地域、消費者団体と連携し、「食」と「農」をつなぐ食育活動が幅広く展開されています。

## 施策の展開方向

### I 皆が憧れ、稼げる長野の農業

#### 重点取組 1 長野地域の農業を支える多様な担い手の確保・育成

中核的経営体の経営を発展させるとともに、農家子弟の円滑な就農や新規参入者の誘致を積極的に行い、地域農業を支える人材の確保と育成を進めます。

##### 【達成指標】

| 項目        | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|-----------|----------------|----------------|
| 中核的経営体数   | 1,479 経営体      | 1,650 経営体      |
| 果樹の新規就農者数 | 36 人/年         | 30 人/年         |

##### 【具体的な施策展開】

- 長野地域の農業をけん引する強く柔軟な経営体を育成
- 新規就農者の安定確保と技術力・経営力の向上を支援
- 雇用労働者の安定確保のための労働環境整備を推進
- 多様な人材による支え手の確保を支援
- 担い手への農地集積を促進する用排水路や耕作道路を整備



【新規就農者りんご研修会】

#### 重点取組 2 全国トップクラスの果樹産地づくり

新技術・新品種の導入や樹園地継承、農業水利施設の整備とともに、脱炭素化技術の導入等気候変動対策に積極的に取り組み、好調なぶどう産地の更なる発展とりんご・もも産地の再構築を進めます。

##### 【達成指標】

| 項目                      | 2021年度<br>(現状)      | 2027年度<br>(目標) |
|-------------------------|---------------------|----------------|
| りんご高密度植栽培導入面積           | 139ha               | 157ha          |
| 果樹県オリジナル品種等の栽培面積        | 1,473ha             | 1,550ha        |
| 畑地かんがい施設により用水が確保された農地面積 | —                   | 650ha          |
| 果実産出額                   | 335 億円<br>(2020 年度) | 354 億円         |

### 【具体的な施策展開】

- 適地への省力化栽培技術導入や改植等によるりんご・ももの産地力向上を支援
- 県オリジナル品種等の戦略的導入とハウス・冷蔵庫の整備によるぶどう産地の発展を支援
- 担い手への優良農地の集積や樹園地継承を促進
- 脱炭素化技術の導入や異常気象等に強い技術の普及による気候変動対策を推進
- 産地強化につながる輸出拡大
- 果樹栽培を支える畑地かんがい施設を整備



【無核ぶどう3品種】

## 重点取組3 長野地域の特色を活かした農産物の安定生産

生産性の向上や省力化が図られる技術を取り入れるとともに、環境への負荷を軽減した栽培方式に取り組み、地域の立地条件を活かした多様な農畜産物の持続的な生産を進めます。

### 【達成指標】

| 項目                      | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|-------------------------|----------------|----------------|
| 軽量野菜（ピーマン）の共同選果調製設備の利用率 | —              | 70%            |
| 持続可能な農業に取り組む面積          | 306ha          | 470ha          |
| スマート農業機械の導入経営体数         | 14 経営体         | 42 経営体         |

### 【具体的な施策展開】

- 高収益作物の導入による水稲経営体の経営力強化を支援
- ピーマン等軽量野菜の生産拡大と品質向上を支援
- トルコギキョウ等需要に対応した花きの生産安定を支援
- きのこの病害虫対策と経営安定を支援
- 環境への負荷を軽減した持続可能な農業を推進
- 品目や地域の条件に適したスマート農業技術の普及を推進
- 経営基盤の維持、強化による健全で持続可能な畜産経営を推進
- 栽培に不可欠な農業用水を安定供給する、農業水利施設を整備



【ピーマン品種検討会】

## Ⅱ しあわせで豊かな暮らしを実現する長野の農村

### 重点取組4 多様な人材で支え、皆で取り組む農村づくり

農業者の高齢化や過疎化が著しい中山間地域では、地域と様々な形で関わりがある皆の力で、農村を維持する取組を進めます。



### 【達成指標】

| 項目            | 2021 年度<br>(現状) | 2027 年度<br>(目標) |
|---------------|-----------------|-----------------|
| 農村型の地域運営組織数   | 0 組織            | 1 組織            |
| 野生鳥獣による農作物被害額 | 95,170 千円       | 90,000 千円       |

### 【具体的な施策展開】

- 地域住民と農村移住者の協働や関係人口との連携による地域農業への理解を促進
- 農村型地域運営組織(農村RMO)の構築による農村コミュニティの維持を推進
- 野生鳥獣から農作物を守る地域ぐるみの取組を支援



【鳥獣害対策研修会】

## 重点取組5 いつまでも安心して暮らせる農村づくり

大規模地震や大雨から農村を守る防災・減災対策を進めます。また、施設管理の省力化と作業時の安全を確保します。

### 【達成指標】

| 項目                      | 2021 年度<br>(現状) | 2027 年度<br>(目標) |
|-------------------------|-----------------|-----------------|
| 排水機場の更新等により安全が確保された地域面積 | —               | 570ha           |
| 自動化・遠隔化された農業用水利施設の水門数   | 16 か所           | 25 か所           |

### 【具体的な施策展開】

- 千曲川沿いの排水機場ポンプ設備の更新・増強を推進
- 防災重点農業用ため池の地震・豪雨耐性評価と防災工事を実施
- 地すべり防止施設の長寿命化計画に基づく対策工事を実施
- ICTを活用した水門の自動化・遠隔化を推進
- 排水機場のしくみと役割を紹介する学習会を実施



【整備した排水ポンプ設備】

## Ⅲ 魅力あふれる長野の食

### 重点取組6 長野地域で守り育てる食の継承

農産物直売所等の魅力アップを図るとともに、食育活動等を通じた食の継承の取組を進めます。

### 【達成指標】

| 項目                         | 2021 年度<br>(現状) | 2027 年度<br>(目標) |
|----------------------------|-----------------|-----------------|
| 売上額 1 億円以上の農産物直売所の<br>売上高  | 20.7 億円         | 22 億円           |
| 学校給食における県産食材の割合<br>(品目ベース) | 50%             | 52%             |

### 【具体的な施策展開】

- 農産物直売所の販売力強化及び農産物加工組織の活性化を支援
- 伝統野菜、そば、郷土食など長野地域で守り育てた食の継承を支援
- 「農」と「食」をつなぐ関係機関と連携した食育活動を推進
- 消費者の関心の高い「食」・「安全」・「環境」に配慮した食づくりを推進



【園児への食育セミナー】

## 北信地域の発展方向

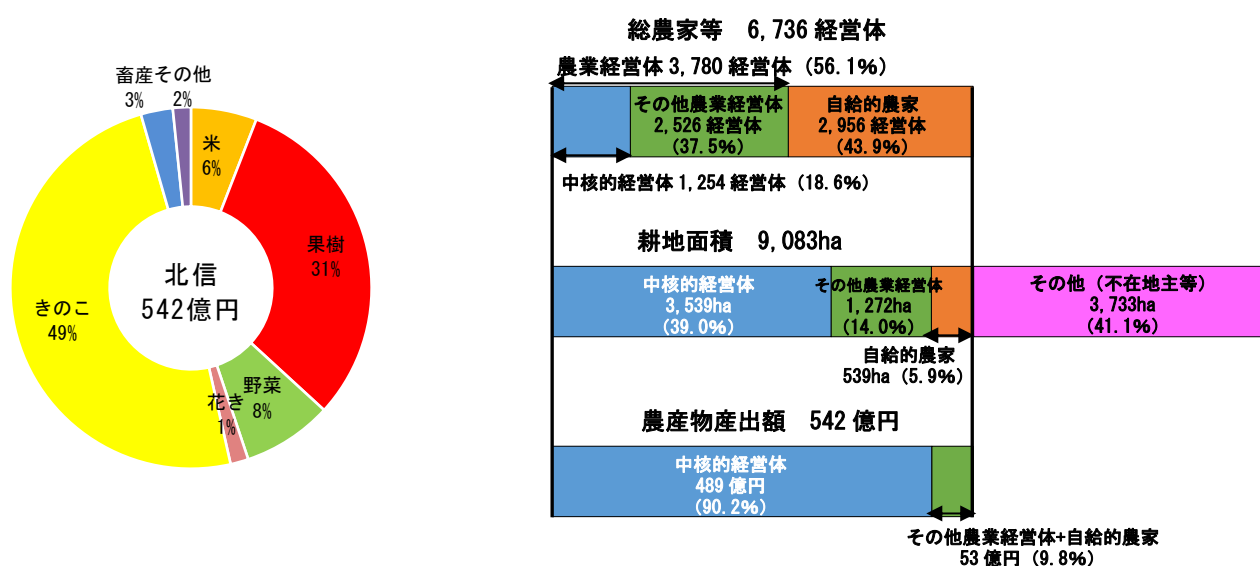
中野市、飯山市、山ノ内町、木島平村  
野沢温泉村、栄村

## 未来につなげ！ 人と地域が織りなす 北信州の食と農

### 農業・農村の特徴

管内は、全国有数な豪雪地帯であり、えのきたけ等のきのこ、りんご・ぶどう・もも等の果樹、良食味の米、アスパラガス等の野菜、シャクヤク等の花き、肉用牛等の畜産など、気候や起伏に富んだ地形を活かした農業が展開されており、特に近年はぶどうの生産拡大が進んでいます。

### 【2020年】（2020農林業センサスから推計）



### めざす姿

#### I 皆が憧れ、稼げる北信の農業

- 適切な農地利用計画に基づいた農地の集積と有効利用が図られ、品目や地域条件に適したスマート農業技術の現地実装が進み、持続可能な環境にやさしい農業が地域ぐるみで展開されています。
- 地域の厳選食材が、県内外に広く認知され、継続して安定的に取引が拡大しています。
- 多様な農業経営に対応した農地・農業用施設の整備が進んでいます。

#### II しあわせで豊かな暮らしを実現する北信の農村

- 半農半Xをはじめとする多様な担い手や福祉等他分野との連携により、地域農業が支えられています。
- 豪雨による湛水被害から農村を守る施設の強化や地すべり防止施設の長寿命化が図られています。
- 農業施設の管理を担う土地改良区の体制が強化されています。
- 農業者をはじめ多様な人材が、地域ぐるみで農地・農業用施設の維持に取り組んでいます。
- 棚田、ため池、農業用水などが持つ特性が、観光・学習、エネルギー創出などに活用され地域

が活力にあふれています。

### Ⅲ 魅力あふれる北信の食

- 産地と実需者・流通業者との強い信頼関係が構築され、多様なマーケットニーズに対応した流通・販売が行われるとともに、SDGs やエシカル消費など新たな価値観への関心の高まりにより、地産地消の取みが拡大しています。
- 生産者や関係事業者と連携・協力した食育や農業体験を通じ、学校給食や福祉施設などで地域食材が多く活用されています。

## 施策の展開方向

### I 皆が憧れ、稼げる北信の農業

#### 重点取組 1 人材の確保と皆が憧れる経営体の育成

農業者の高齢化や担い手不足による生産力の低下が懸念されます。めざす姿の実現に向け、地域農業をけん引する中核的経営体の育成と、新規就農者、女性農業者、定年帰農者など多様な担い手や雇用労働力の確保を進めます。

##### 【達成指標】

| 項目              | 2021 年度<br>(現状) | 2027 年度<br>(目標) |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| 中核的経営体数         | 1,219 経営体       | 1,250 経営体       |
| 新規就農者数 (49 歳以下) | 20 人            | 31 人            |

##### 【具体的な施策展開】

- 農業経営者総合サポート事業等の活用による中核的経営体の経営発展への支援
- 「北信州農業道場」等による新規就農者育成と多様な担い手の確保
- 担い手の経営を支える雇用労働力の確保に向けた支援
- 地域農業を支える多様な担い手の生産設備整備等の支援



【北信州農業道場：先進農家に学ぶ】

#### 重点取組 2 持続的な農業の取組とデジタル技術等の活用

スマート農業等新技術の活用や、農業者の高い技術力と経営力による生産効率の高い営農と、有機農業や減農薬・減化学肥料によるグリーン農業など環境負荷低減の取組みを進めます。

##### 【達成指標】

| 項目                  | 2021 年度<br>(現状) | 2027 年度<br>(目標) |
|---------------------|-----------------|-----------------|
| 持続性の高い農業生産方式による栽培面積 | 401 ha          | 610 ha          |
| UAV (ドローン) による防除面積  | 45.2 ha         | 70 ha           |

### 【具体的な施策展開】

- 環境負荷を低減した持続可能な農業の推進と安全安心な農畜産物生産への支援
- スマート農業等の推進による生産性向上とコスト低減への支援



【ドローンによるリモートセンシング】

### 重点取組 3 実需者ニーズに対応した北信農畜産物の生産強化

きのこをはじめ、食味に優れる米、高品質で多彩な果樹、アスパラガスとシャクヤクも全国有数の産地として知られています。また、肉用牛・養豚も地域ブランドとなっており、いずれも市場から高い評価を受けています。

今後、更なる産地力強化に向け、実需者ニーズに対応できる産地づくりを進めます。

#### 【達成指標】

| 項目               | 2021年度<br>(現状) | 2027年度<br>(目標) |
|------------------|----------------|----------------|
| 果樹県オリジナル品種等の栽培面積 | 460 ha         | 620 ha         |
| 野菜・花き振興品目の栽培面積   | 598 ha         | 670 ha         |

### 【具体的な施策展開】

- 需要に応じた米生産を基本に、良食味米や業務用米・酒米の安定生産と収益性の高い米生産を推進
- 果樹の戦略品種等の生産拡大と高位安定生産を推進
- 野菜・花き振興品目の生産を推進
- きのこの栽培環境対策と異物混入の防止及びGAP手法に基づく衛生管理基準の強化
- 家畜の飼養衛生管理及び危機管理体制の強化
- 雪室等地域資源を活用した農産物の高付加価値化の取組み支援
- 海外市場も視野に入れた農産物生産と施設整備等への支援



【クイーンルージュ®の栽培検討会】

## II しあわせで豊かな暮らしを実現する北信の農村

### 重点取組 4 農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり

地域計画等による農地の利用を進めるとともに、多様な人々が「農」に関わる体制づくりや、農地、水路などを保全し、農業生産活動を継続するための共同活動が必要です。

また、棚田やため池などを観光や地域学習に活用するなど、地域ならではの資源を活かした様々な取組を進めます。



### 【達成指標】

| 項目                             | 2021 年度<br>(現状) | 2027 年度<br>(目標) |
|--------------------------------|-----------------|-----------------|
| 地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動面積 | 4,266ha         | 4,200ha         |

### 【具体的な施策展開】

- 地域計画（人・農地プラン）に基づく適切な農地利用
- 地域ぐるみで取り組む多面的機能の維持
- 美しい棚田や起伏のある地形から生まれる農業用水のもつポテンシャルなど地域資源を活かした農村の活力創出
- 地域特性を活かした「農ある」移住への支援と受け入れ態勢の整備支援
- 野生鳥獣被害の実態に応じて総合的に実施する地域ぐるみの被害防止対策を、関係機関連携により支援



【地域ぐるみの水路保全活動】

## 重点取組 5 安全安心で持続可能な農業・農村の基盤づくり

収益性の高い果樹産地を支える畑地かんがい施設、良質米産地での区画整理が進んでいますが、整備後相当年数を経過しており、施設の長寿命化が必要です。

また、令和元年東日本台風災害や長野県北部地震など大規模な自然災害が発生しており、災害に強い農村づくりが求められています。

### 【達成指標】

| 項目                            | 2021 年度<br>(現状) | 2027 年度<br>(目標) |
|-------------------------------|-----------------|-----------------|
| 農業用水を安定供給するために重要な農業水利施設の整備箇所数 | 4 箇所            | 9 箇所            |
| 湛水被害を守る排水機場のポンプ設備の更新          | —               | 4 機             |

### 【具体的な施策展開】

- 農産物の安定生産と品質確保に必要な農業用排水施設と畑地かんがい施設の計画的な長寿命化
- 頻発化・激甚化する災害から暮らしを守る農業・農村の強靱化
- 農業用ため池などを活用した治水対策への支援
- 人口減少社会に対応した農業施設の更新と施設の維持管理を担う人材の育成
- 地域計画（人・農地プラン）に基づいた稼ぐ産地を支える基盤整備の推進
- 中山間地域など地域の実状に応じたきめ細かな基盤整備の推進



【湛水被害から農村を守る  
木島第一排水機場】

### Ⅲ 魅力あふれる北信の食

#### 重点取組 6 食の地産地消の推進と次代への伝承

農畜産物の更なる利用促進を図るため、農産物直売所や観光業等と連携し、情報発信力の強化が必要です。

また、地域の風土・伝統・食文化等を県内外に発信し関係人口の増加を図るほか、食育等により食の伝承を進めるとともに、エシカル消費等による地産地消を推進します。

#### 【達成指標】

| 項目         | 2021 年度<br>(現状) | 2027 年度<br>(目標) |
|------------|-----------------|-----------------|
| 農産物直売所の販売額 | 18.3 億円         | 23 億円           |

#### 【具体的な施策展開】

- 地域農産物の販売拠点となる農産物直売所の情報発信力強化を支援
- 飲食店・宿泊施設等関係事業者と連携した地域食材を提供する機会の拡大
- 郷土食の伝承や地域・産地の魅力を伝える交流活動等を支援
- 学校や地域において、次代を担う子供たちを中心に食育を推進



【高校生による伝統野菜のレシピ開発】